

村井 勉氏を悼む

昨年10月30日、本学会元会長村井勉氏がご逝去されました(享年90歳)。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

氏は昭和17年住友銀行に入行。各種の要職を経て、51年からは経営危機に陥っていたマツダの副社長として、「奇跡の回復」といわれる再建を達成。57年からは当時どん底に喘いでいたアサヒビールの社長、会長として、組織を活性化し、大ヒット商品「スーパードライ」を世に送り出し、今日の姿へと大きく変身させました。さらに62年からは西日本旅客鉄道の会長として、民間企業として進むべき方向を明確に示し、社員の意識を改革し、今日の礎を築かれました。極めて難しい3つの異業種企業の再建を手懸け、いずれもその目的を見事に達成した手腕は高く評価され、世の絶賛を浴びました。この間平成6・7年度会長として本学会の発展に大きく貢献されました。氏の基本姿勢は大きく次の4点に集約できます。

(1) 座右の銘は「無執」。企業再建で最も大切なことは、己を捨ててその企業のために尽くすことですが、自らの功名を求めることなく、常に「企業のため」「社員のため」を優先し、見事に実践しておられました。

(2) 大変明るく、些事にこだわらない誠におおらかな方で、「ネアカ(根っから明るい)グングン 猛ダッシュ」をキャッチフレーズに、率先垂範、常に先頭に立って行動しておられました。

(3) 中間管理職が燃えれば、その上司も燃え、変わらざるを得ないという強い信念の下に、「中間管理職に火を点けよ」と唱え続け、社員、特に「中間管理職」の意識改革に注力されました。

(4) 企業の活性化を目指し、「俺は再建屋ではなく活性化屋だよ」と言っておられました。組織全体を自然と村井ペースに巻き込み、実力以上の力を発揮させる偉大な「ムードメーカー」でもありました。

識見に加え人間的魅力に溢れ、部下の心をしっかりと捉えて、部下が何のためらいもなく素直に従える方はそう多くはおりません。そうした意味で村井氏は誠に稀有な存在で、素晴らしい経営者であり、真(まこと)のリーダーといえる方でした。今こうして氏を失



うことは誠に大きな損失ですが、村井氏への思いは、これからも多くの人々の胸の中に生き続けるでしょう。氏の卓越した言動を真似ることは、まさに至難の業ですが、その思いの一端をおのおのの立場で着実に実行に移すことが、我々後輩のせめてもの氏への恩返しだと思います。

改めてご冥福を心からお祈り申し上げます。

(小金澤章吾)

故村井 勉氏略歴

大正7年3月生まれ

〔学 歴〕

昭和17年9月 東京商科大学(現一橋大学)卒業

〔職 歴〕

昭和17年10月 ㈱住友銀行(現三井住友銀行) 入行

昭和51年1月 東洋工業(株)(現マツダ)

取締役副社長

昭和56年6月 ㈱住友銀行 副頭取

昭和57年3月 朝日麦酒(株)(現アサヒビール)

代表取締役社長

昭和61年3月 同 代表取締役会長

昭和62年4月 西日本旅客鉄道(株) 代表取締役会長

平成4年6月 同 取締役相談役名誉会長

平成11年1月 アサヒビール(株) 相談役

同 年6月 西日本旅客鉄道(株) 顧問名誉会長

平成13年3月 アサヒビール(株) 名誉顧問

平成15年6月 西日本旅客鉄道(株) 退任

〔受賞・授章〕

昭和63年4月 勳二等旭日重光章

〔OR 学会関係〕

会 長 平成6~7年度

名 誉 会 員 平成9年度